

## 1 みんなで進める住みよいまちづくり

- ・最近、自治会を辞める人が多い。自治会に入るとこれだけのメリットがあるというものがないと、ますます退会する人が多くなると思う。【神崎】
- ・人口が減少するときに、那珂市として近隣市町村とどのようなつばぜり合いを行うのか。その辺を加味して計画化してもらえればありがたい。【神崎】
- ・防犯灯などの費用は、自治会員が負担している。不満の声も出ているので、抜本的な解決策を考えてもらいたい。【菅谷】
- ・菅谷地区は、3校区ありながら、コミュニティセンターが一つもない。もう少し行政の方でも考えてもらいたい。【菅谷】
- ・自治会の加入率がだんだん厳しくなっている。加入率の向上に力を貸してもらいたい。【五台】
- ・一人暮らしの高齢者が増えている。自治会に入れば、電球交換作業をしますよというような関連付けを増やせば、一つの解決策になると思う。【五台】
- ・自治会に入るメリットとデメリットが具体的にあれば、勧誘も進めやすいと思う。【五台】
- ・もっと若い人に住んでもらえるよう、何か活性化してくれないと、20年経つとどうなるか、とても不安だ。【戸多】
- ・空き家をコミュニティで活用できないか。例えば、高齢者がお茶を飲みに行けるようにするとか、一人暮らしの高齢者が入所できる施設にすればよいと思う。【芳野】
- ・茨城県全体の健康寿命は、全国でも一桁に入る。那珂市の健康寿命はどうか。その辺をPRすると、那珂市に住んでみようとなるのではないか。【芳野】
- ・コミュニティセンターや分館など、集会所に対する施策が充実していない。そういうところへの取り組みを強化してほしいと思う。【瓜連】

## 2 安全で快適に暮らせるまちづくり

- ・本米崎にあるスマートI.C.を本格的なインターチェンジに移行してほしい。それにより、北部地域が活性化すると思う。【額田】
- ・額田や本米崎は東海村に隣接している。避難道路という性格も含めて道路を整備してほしい。【額田】
- ・集落の維持ということからすれば、現在のインフラをそのまま維持していかないと区域指定をしても意味がない。【額田】
- ・区域指定制度は、都市計画法の11号の方、市街化区域の1km以内を指定した方が費用対効果があり、税収も上がると思う。【菅谷】
- ・なぜ土日ひまわりタクシーやひまわりバスが通っていないのか。これから高齢化が進み、免許を返す人が多くなる。そういう人たちが土日でも買い物などに行けるよう進めてほしい。【菅谷】
- ・区域指定制度の導入で、市に人を呼び込むことは重要だと思うが、前から住んでいる人と新しく住む人との意見の相違が出てくる。協調できるような取り組みをどうするか、基本計画の中で考えてもらいたい。【芳野】
- ・公共下水道の区域ではあるが、いろいろな人の意見を聞くと30年先の話だと聞いた。下水の問題は早急に解決してもらいたい。【芳野】
- ・街灯は自治会の管理であることは分かっているが、いつまで経っても数が増えない現状だ。犯罪の少ないまちをつくらうということであれば、夜も明るいまちにしてもらいたい。【芳野】
- ・東日本大震災の時に消防団で団地を回ったが、消防署などへ連絡する方法がなかった。けが人が出なかったから良かったが、何らかの方法で連絡を取れるようにできないか。【瓜連】

## 3 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり

- ・高齢者や子育てをしている人、障がい者が相談できる体制を強化・充実することが重要だ。そのためには、職員の教育と民間の活用が重要だと思う。【芳野】
- ・健康寿命が重要だ。自転車は誰でも乗れるので、サイクリングロードを整備すれば、非常に有効ではないか。【木崎】
- ・高齢者がいきいきと暮らせる社会をつくる場合、受け皿になるのは、高齢者の組織だ。高齢者の組織化のためのマニュアルがあれば示してほしい。【瓜連】

#### 4 未来を担う心と文化を育むまちづくり

- ・平成30年からの10年間で一番大きな課題は、学校統合問題だと思う。そういう問題をどうするのか、小規模校でも残していくのか、指針を示してほしい。【額田】
- ・小学校がないところに人が移ってくるのか。どんな形でも学校がないと、住民は移らないと思う。【菅谷】
- ・通学の面で、冬だけでもバスを出すとか、子育てをするのに弊害がないよという案があれば、お願いしたい。【戸多】
- ・廃校になった小学校を「ふるさと教室」に利用するなど、トータル的な施策をなぜ打ち出せないのか。行政は縦割り過ぎる。オール那珂市で考えてもらいたい。【戸多】
- ・木崎地区には、遺跡や寺院、神社などが多くある。そういうところを整備して、文化に貢献できればよいと思う。【木崎】

#### 5 活力あふれる交流と賑わいのまちづくり

- ・国では1億総活躍社会を打ち出しているが、市でもシルバー人材の有効活用とか、女性の雇用の創出のようなことを重点的に取り組んだ方がよいと思う。【額田】
- ・那珂I.C.から降りると道がせまい。西部工業団地に企業を誘致しようとしたときに、道路を片側2車線にしないと大型トラックも通れない。【五台】
- ・企業誘致を図り、雇用を生み出すことが大事だ。固定資産税を安くするなど、アメをぶら下げる必要があると思う。【五台】
- ・高齢化による農業の衰退により、耕作放棄地が増えている。10年経ったら、ほとんど原野になってしまうのではないかと心配している。【戸多】
- ・農業法人を誘致すれば、雇用にも結び付く。また、若い人で農業をやりたい人を全国から呼ぶ。そういうことを発信しなければならないと思う。【芳野】
- ・那珂核融合研究所に大学の研究室を誘致できれば、ミニつくば市のような構想ができるはずだ。【木崎】

#### 6 行財政改革の推進による自立したまちづくり

- ・自立したまちづくりが求められるとあるが、役所に行くと「県の判断がないと分からない」と言われる。現状と裏腹だと感じている。【戸多】
- ・ほかを見ないと、自分のところの良さも悪さも分からない。職員研修を充実させ、他の地域に負けないように頑張ってもらいたい。【芳野】